

皆さんは、^{けいざんぜんじ}瑩山禪師をご存知ですか？

曹洞宗では、^{さんぞんぶつ}三尊仏といって、お釈迦さまとお二人のお祖師さまを特に敬い今日まで来ています。仏教を開かれたお釈迦さま、曹洞宗を開かれた^{どうげんぜんじ}道元禪師、そして、道元禪師から数えて四代目の^{けいざんぜんじ}瑩山禪師です。

お釈迦さまと道元禪師。このお二人を曹洞宗が敬う事は当然のことですが、なぜ、瑩山禪師が、道元禪師と並び、現在まで敬われているのでしょうか？

瑩山禪師の大きな業績の一つは、曹洞宗教団の確立にあります。

道元禪師は、曹洞宗の^{いしずえ}礎を築られました。「^{しょうぼうげんぞう}正法眼蔵」を著し、お釈迦さまからの^{しょうでん}正伝の^{ぶっぼう}仏法を^{ひょうぼう}標榜し、多くの弟子が集まりました。

しかし、ひとつの宗教教団として存続していくには、体制が不安定でした。事実、道元禪師から三代目の時代には、分裂の危機に^{おちい}陥っています。

そんな折、^{おり}瑩山禪師は、宗教教団としての存続に必要な体制を整え、曹洞宗教団を確立したのです。

瑩山禪師の特筆すべきもう一つの業績、それは「衆生済度（しゅじょうさいど）」です。多くの苦しんでいる人々を救うために、曹洞宗の^{もんこ}門戸を大きく広げたのです。

「多くの人々を救いたい」という思いは、瑩山禪師の生い立ちと大きく関わっています。

瑩山禪師の祖母と母は、^{あつ}観音様を篤く信仰していました。瑩山禪師は、そんな祖母と母から、幼い頃より観音信仰という宗教的影響を大きく受けて育ちました。観音様は慈悲の^{じひ}仏様であり「すべての苦しんでいる人々を救う事」を願いとしています。

瑩山禪師も生涯を通じて観音様を篤く信仰し、「人々を救う」という願いを観音様と同じくしていたのです。

さらに、瑩山禪師は多くの素晴らしい弟子を育てました。その弟子たちが各地で布教を続けたことにより、曹洞宗の教えが全国に広まったのです。曹洞宗寺院は現在、約一万五千カ寺を数えることができ、^{こんにち}今日まで曹洞宗が存続をしているのも瑩山禪師の業績なのです。

また、瑩山禅師は、道元禅師を尊敬してやみませんでした。

瑩山禅師は、「道元禅師が開いた曹洞宗を後^{こうせい}世にしっかり伝えたい。」という思いを一生持ち続け、そして成し遂げたのです。

だからこそ曹洞宗では、三尊仏として、お釈迦さまや道元禅師と並び、瑩山禅師を敬っているのです。